

天王のついで

町のうごき

本籍数	4,179
本籍人口	14,281
世帯数	2,848
住民登録人口	13,344
内 男女	6,597 6,747

8月1日現在

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(一日市)38

待望の「中央公民館」

— 完工は一月末 —

町では、かねてより町民の皆さんより要望のありました中央公民館建設工事について、このほど役場第三会議室において入札を行ないました。この結果大木建設(役場庁舎建設)が施行することになり、竣工は昭和四十四年一月末日の予定で、工事費は約三千五百三十五万円です。

人室、図書室、調理実習室、講座室、小会議室、大会議室、浴室などで、いままで不便だった公民館活動も大幅に解消され、

会活動や集會に、多に活用されることが期待されます。また、隣接には町民体育館(町民ホール)も工事費約一千七百五十万円建設されます。

〔42年度〕

納税の表彰

四十二年度分町税を完納した納税組合と組合長の表彰式が八月三日役場で行なわれ、町長から表彰状と金一封(組合長)が

贈られた。表彰された組合長および貯蓄組合は次のとおり。

【組合長表

彰】

柏崎新七

(東荒町)

柏崎惣四郎

(西荒町)

三浦三蔵

(大崎一区)

吉田理之助

(大崎二区)

西村弓太郎

(松瀨)

桜庭金五郎

(塩口一区)

小野克太郎

(二田十一区)

榎庭喜八郎

(塩口二区)

戸田虎五郎

(上荒町)

京谷仁太郎

(本町)

石川金蔵

(塩口二区)

鎌田鈴之助

(旭町)

日黒久治

(羽立三区)

中田兼太郎

(追分下区)

真壁芳太郎

(二田十区甲)

京谷仁三郎

(下町)

沼田喜市

(曲町上)

銭谷勝二郎

(銭谷)

三浦由蔵

(大崎三区)

三浦由蔵

(大崎四区)

柏崎兼松

(神明町)

藤原金治

(江川二区)

眞井田恭のり

(追分西二区)

菅生喜兵衛

(中羽立)

草階金五郎

(牛坂)

【貯蓄組合表彰】

東荒町・西荒町・大崎一区・大崎二区・松瀨・塩口三区・二田十一区・塩口一区・上荒町・曲町下・本町・塩口二区・旭町・追分陸会・追分三区・追分下区・追分西一号・二田十区甲・下町・曲町上・銭谷・二田一区・大崎三区・大崎四区・神明町・江川二・追分西二区・中

健康生活推進委員

第三回大会開く

天王町健康生活推進委員(藤原慶一郎会長)は八月三十一日天王中体育館で第三回大会を開いた。

当日は県知事代理堀井厚生次長始め健康推進委員会 地区保健会などから関係者六百人が参加、藤原会長のあいさつのあと、表彰式が行なわれ個人では団体では大崎地区保健会が表彰された。

心に耳を傾けていた。このあと、「私たちは長寿の町天王を建設するためには、各地区保健会の自主的活動が最も重要であることを再確認し、隣人相携えてその実践に邁進する」という決議を決め盛況のうち第三回大会の幕を閉じた。

臨時議会開く

臨時議会が七月二十七日開かれ、補正予算案、中央公民館新築工事の施行方法案など七案件を審議、原案どおり可決して同日閉会した。可決された四十三年度一般会計補正予算は、歳入、歳出にそれぞれ三千五百五十五万七千円が追加され、四十三年度一般会計の予算総額は二億三千五百五十八万八千円となった。

おもなものは次のとおり

▽工場用地買収費 三百四十四万三千円

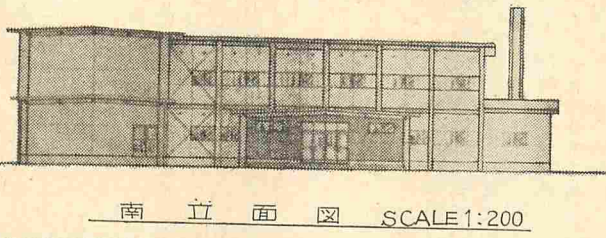
▽町民体育館建築工事費 一千七百五十三万三千円

▽中央公民館建築工事費 九百四十万八千円

▽塵芥焼却炉(機械炉)工事費 百五十万円

▽塵芥処理施設建設地購入費 百四十万八千円

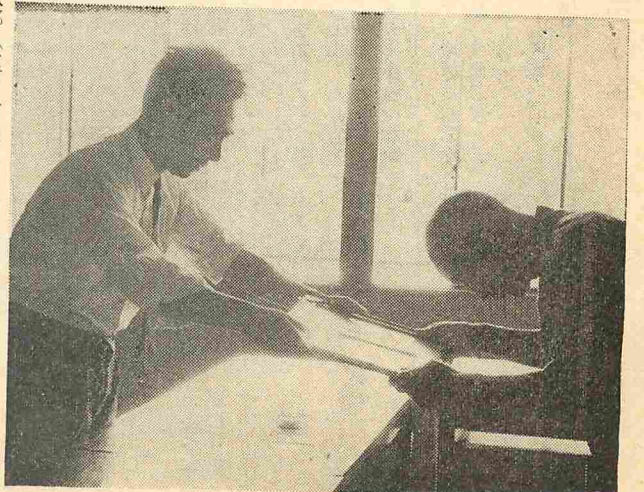
▽東湖小・出戸小・追分小の各学校の水道濾菌機取付工事費 十三万三千円



南立面図 SCALE 1:200



続いて天王町助役、秋田県知事代理堀井厚生次長、木村保健所長、児玉秋田衛生科学研究所長らから祝辞が述べられた。また秋田県衛生科学研究所母子衛生科長伊藤先生が「子どもの発育と栄養」について約一時間の講演を行なった、子どもの発育のことでもあり参加者は熱



羽立・牛坂

9月の農作業のポイント

今月の稲作の要点

◎ 落水期の決定

米粒の発育過程からみた落水期は開花後三十日位までは重さが増しつづけるので、落水が早すぎると収量が減ります。また、胴割れ米やサビ米がふえて品質をそこねます。

落水は一応穂揃後三十日が目安となります。しかし、排水の良い田やイモチ病多発の恐れのある水田では遅めに、湿田や地下水位が高く乾きにくい田では早めというように、水田の条件によって効果的に進めることが大切です。また急速に乾かすのはさけて、すこしづつ乾かすようにします。

上のほか刈り取り乾燥作業を考へ合わせ、単に出穂後の日数や暦の上ではやらないようにします。

◎ 倒伏稲の処置

九月にはいると、大陸方面では、高気圧がはじまり、夏の間勢力をはっていった太平洋高気圧がしだいにとおろえはじめます。

台風には注意を!

この頃になると南方洋上に熱帯低気圧が発生し、これが台風へ発達して日本を襲って大きな災害をもたらします。

△ 注意事項

- 一、看板、へい、煙突などを補強して倒れないようにします。
- 二、窓や雨戸がとばされて、家中へ風が入ると、木造家の

倒伏した稲は刈り取り適期に

近い場合は、すぐ刈り取り、倒伏の時期が早ければ、できるだけ早く三〜四株を寄せてゆるく結束し、なるべく自然に近い形で立てかけるようにします。

茎の折れかすとかえって被害が大きくなることがあります。穂が地につかないように、下の稲の茎葉上にあけて穂発芽を防ぎ、さらに排水につとめま

◎ 刈り取り時期

早晩生種にこだわらず、穂全体のモミの九十パーセント以上が黄色になった時(穂の下の方にいくぶん未熟粒が残っている時期)が適期と考えればよいでしょう。

全部の刈り取りには日数がかかり、刈り取りあがることに過熟になることが多いので、この点を考慮して刈りはじめることが必要である。

◎ イモチ病防除

出穂期の八月四日からの高湿多湿とぐづついた天候によってイモチ菌の飛び散りがかっぱつになり、首イモチ、枝梗イモチ病異状発生しております。

農地の転用には必ず許可を

最近、町のあちこちで新しい家が建つたり非農家の人の作業場ができたりにしていま

これらの、ほとんどは農地の転用によるものですが、農地の転用は農地法の制限を受け、無断で転用することができません。

農地を転用する時は必ず農業委員会を経由して県知事宛に許可申請を行ないその許可があつてから実施してください。

農地法第四条の申請
自己所有の農地を、農地以外の地目(宅地等)に転用する場

産業祭

出品物の準備を

産業祭には、ことしも多数の出品を期待しています。株種の出品は刈り取りのときに抜き取っておき、ネズミ等がつかぬよう大切に保存し、出品に備えておきましょう。

〔出品規格〕
水稲十株、陸稲二十株
〔審査準備〕
特性、草丈、分けつ、形状、充実歩合、色沢、根、熟度、乾燥、病害虫有無等、良好なもの

九月十五日は「家庭の日」

◆老人をいたわりましょう
九月十五日から老人福祉週間が始まります。若い人たちがお年寄りの立場を理解することに努め、お年寄りの幸せを高めるよう努めましょう。

○お年寄りの健康に気をくばりこの週間に健康診断をうけるようにすすめましょう。

○お年寄り中心の家族だんらんをこの機会にちまみましょう。

○子どもや孫たちで、お年寄りのためになるようなことをしていただくようにしましょう。

○老人クラブや、地域のお年寄りのための行事に参加できるようにしてあげましょう。

○自分の家や、この地域のうつり変りをお年寄りからさきま

◎暮しについての話し合いをし

県道男鹿線の並木敷の取扱いについて

県道男鹿線沿への並木敷についてはとかく問題がありましたが、最近新産都市の指定と男鹿観光開発に伴う交通量増大により道路巾員が非常にせまくなり、したがって交通事故の発生率も激増する傾向も示されていますので、県では県道沿へ地域民の境界まで整理し簡易舗装を行ない側溝をつけ逐次立派な道路に築造する計画しているため、現在、県有地を無断占使用している方は今年の収穫後は一切占使用を中止していただくようお願いいたします。

(秋田県土木事務所)

農業総合資金制度

この制度の内容は次のとおりとなっております。

△ 融資対象事業

- ・農地の改良又は造成
- ・農地の取得
- ・果樹の植栽、育成
- ・乳牛、繁殖肉用雌牛又は繁殖用豚の購入
- ・農用建物の造成、農機具の

購入

△ 融資対象農業者
・自立経営となる意欲と能力を有する四十才未満の農業者
・改善後の所得目標が年間百八十万円以上であり、かつてこれを達成する見込みがあることと認められるもの。

△ 融資額及び融資枠
・融資限度額 個人八百万円
法人一千万円

・償還期限 二十五年(うち前置十年)

・利率 五分ただしすえ置期間中四分五厘

・四十三年度貸付枠

個人一十一年度なし
法人一十一年度なし

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

ください。

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

ください。

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

ください。

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

ください。

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

ください。

希望農業者は改善計画書に申込書を添えて農協に申し込み

敬老会

ことしもヘルスセンターで

町では、ことしの「敬老会」を敬老の日より二日早い九月十三日、昨年につづいて寒風山の男鹿ヘルスセンターで開催します。

長年にわたって町のため尽くされたおじいさん、おばあさんに感謝し、長寿をお祝いするついでに、本町ではことしで十七回目を数えています。

該当者は明治三十一年九月三十日までで生まれた満七十歳以上の人で、ことしは昨年より三十六名多い三百五十八名(男百六十三名、女百九十五名)となっています。このうち八十歳以上の人は四十四名おり、一番長寿の人は大崎の加賀谷ナツさん(九十五歳)です。

十三日の敬老会の日程は次のとおり。
▼バス出発(役場前) 午前十時
▼男鹿ヘルスセンター到着 午前十時半
▼敬老会 正午から三時まで
▼ヘルスセンター出発 午後三時三十分

長寿の人々

【塩口】 桜庭亀蔵71、桜庭幸助74、桜庭リエ73、石川キノ81、桜庭ムラ72、桜庭清之助76、米谷トク78、桜庭金松73、桜庭永太郎74、桜庭キノ71、桜庭多市74、桜庭トミ84、木元キササ80、丸谷キナ76、桜庭キエ81、米谷チイ83、丸谷トミエ72、桜庭リワ78、桜庭リエ72、桜庭久太郎74、木元カナ74、桜庭トメ70、

桜庭カネノ71、
【中羽立】 目黒多助73、菅生福治77、菅生ヤス71、菅生清蔵72、菅生マツノ72、菅生喜代吉74、菅生トクエ70、
【羽立】 安田利76、児玉留吉74、児玉トメノ71、安田亦六70、安田キノ75、安田リノ78、菅生堅治77、菅生チヨノ75、安田チヨノ73、鈴木太助71、安田春松83、安田カ子ノ70、鈴木興七72、安田仁七72、菅生常五郎72、鈴木タカ73、安田トヨ73、鈴木サタ74、江島チヨ73、工藤ミネ72、安田キヨノ74、石川安70、根スエ73、鈴木ハル75、鈴木サタ80、安田イネ72、安田ソノ86、中山亀吉70、長谷山ミツ70、安田リツ87、山寺ナヲ80、鈴木勇吉72、鈴木ノフ72、

【渋谷】 桜庭フク75、渋谷倉吉87、桜庭フク70、桜庭ナカ88、桜庭福治73、戸田イト71、桜庭キワ71、米谷リン73、加藤ツル84、桜座チナ74、
【天王】 京谷シノ71、村山長太郎70、山方弘通71、西村友八88、柏崎カ子80、佐藤クラ77、沼田キク71、金子源吾75、越後カネ81、越後アネ80、児玉清蔵73、児玉キエ70、吉沢トメノ71、石川祐太74、沼田要吉71、柏崎ソノ79、村山カナ72、児玉カツ71、柏崎チタ70、沼田貞治72、村山ミヨ72、武石ノブ71、金子ハル78、石川松蔵75、鎌田和助81、鎌田ミ子70、戸田金五郎74、戸田イト74、石川イキ72、戸田礼吉78、相沢助蔵79、金子マツ72、柏崎新七71、西村菊治70、北島フメ75、石川トメ84、杉洲

行吉75、柏崎興市74、柏崎東太85、沼田キセ72、石黒政吉79、菊地留吉78、京谷力蔵72、菊地三郎74、村山兼吉87、戸田権蔵80、戸田ハナ74、沼田為治85、沼田チヨ85、京谷銀蔵79、児玉力之助77、上坂リエ71、三浦金松70、児玉東右エ門75、米谷ナヨ74、越後ソノ73、京谷長治84、鎌田圭太郎74、戸田龍太郎72、村山卯之吉70、戸田ハルヨ72、金子富治77、戸田吉太郎71、戸田スモ76、越後谷ミヨ71、沼田喜一郎78、沼田ツエ72、石黒キヨノ72、石黒庄市70、京谷仁左エ門72、長野倉之助70、鎌田サノ72、石黒ナミ73、鎌田金助70、桜庭千代吉71、戸田チエ71、内田トメ72、柏崎キノ79、村山カネ78、石川タケノ74、
【江川】 伊藤ジョウ78、伊藤ミナ70、伊藤カナ78、藤原太郎吉70、伊藤リノ72、武田ツナ71

長寿 ナツさん九十五歳に

九月十三日に町の敬老会が開かれるので、このほど町の最高齢者である大崎の加賀谷ナツ(九十五歳)さんを訪れてみた。

ナツさんは目や耳も達者で、生れた年月日や結婚当時のことをきいてみたら、笑って、生れたのは明治六年で二十歳の時に結婚し孫、ひこ孫は四十人もいると答えた、よく記憶している。

昨年までは家事手伝いなどをしてきたが、いまはノンビリとテレビなどを見て(目に悪いため長時間は見ない)気ままな生活している。食べものは肉類、タコ、刺身類以外はなんでも好きとくにあっさりしたものが好きで一日三食、一食一ぜんである。六十歳頃からは病氣らしい病氣はしないという。



写真は九十五歳で元気なナツさん

また、昔は八郎潟でたくさん魚がとれ、農作業のひまに藻(も)取りをしたことを語ってくれた。

- 伊藤ミン88、伊藤ツルエ77、藤原末吉81、伊藤タケ73、児玉弥生72、児玉八重吉70、伊藤政治73、伊藤スメ81、伊藤倉之助73、伊藤トヨ80、伊藤興七79、藤原夕子83、藤原タカ75、藤原秀五郎72、伊藤勝五郎74、藤原忠治72、伊藤トメ75、藤原セツ72、伊藤鉄治72、伊藤イワ70、伊藤ツヨ78、伊藤謙治郎76、伊藤寛蔵71、藤原ツナ71、
- 【児玉】 今井サク82、薄田留吉78、佐藤スノ74、菊地駒吉70、松村シナ76、吉元七五三吉74、森元オモテ77、
- 【大崎】 吉田キクノ75、吉田ムメ81、三浦甚之丞72、石井茂助76、和田ハナ75、吉田ハル79、三浦清之助76、吉田スゲ72、三浦カネ72、鈴木佐市89、吉田兼吉71、三浦寅之助78、三浦キク72、三浦カネ77、三浦東市72、三浦キノ75、三浦キヨノ75、三浦佐一郎71、三浦喜代吉73、吉田市太郎74、三浦シギ72、三浦治郎72、石井三郎71、
- 【下出戸】 佐藤スエ79、加賀谷スイ77、佐々木ハル72、加賀谷キサ82、加賀谷キヨノ74、加賀谷兼五郎78、加賀谷堅蔵78、加賀谷トミエ72、佐々木金五郎75、佐々木テツノ71、佐々木興市72、佐々木ムメノ70、加賀谷仁吉78、飯島竹松74、佐々木兼松71、菊地ミナ75、加賀谷兼松76、佐々木兼治郎71、佐々木善蔵76、佐々木ノブ70、佐々木カヨ76、佐々木五郎吉72、
- 【出戸開拓】 下田金治郎70、
- 【細谷】 佐藤サト70、菅原フジエ73、菅原トミエ73、菅原八重蔵70、
- 【上出戸】 菊地東助70、菊地カナ75、菊地シヲ83、菊地トヨ75、鈴木勇之助76、渡部カン74、渡部ハナ83、古山テツ77、菊地ヨリ80、菊地長助70、菊地貞治72、菊地由蔵72、菊地キン76、菊地ナミ75、米田スエ70、柴田クラ87、
- 【追分西】 鶴谷平吉77、鶴谷チカ74、堀捨松72、真井田恭のり70、小浜基真70、中原キヨ72、佐藤ナチ76、伊藤ハナ72、菅井福治郎85、奈良キク70、
- 【追分】 児玉金治76、中川カナ71、安田銀平74、奈良タマ70、藤原康72、成田亀之助82、奈良ギン子71、武田儀一73、藤田チエ77、進藤ユリ70、伊藤リツ79、貝田良之助71、佐々木リエ72、渡部サタ72、佐藤岩吉79、山内はる72、今野小一郎83、

集会にはお互いに決
められた時間をまも
りましょう。

子ども会リーダー 養成講習会開く

こども会「子ども会リーダー養成講習会」が七月三十一日から八月一日までの二日間、天王小学校で行われた。

子ども会の健全な育成をはかるため、町、青少年問題協議会、教育委員会、社会福祉協議会の共催で毎年実施しているもので、今回は町内の各子ども会から八十二名のリーダーや今後リーダーになる児童、生徒が参加した。

受講生は第一日目開講式のと、五つのグループに分かれてそれぞれで子ども会を結成、生活部、清掃部、レクリエーション部、給食部の役割り分担を決めた。これは、二日間の講習を子ども会形式で進め、受講生が各部落へ帰ってから子ども会の運営や活動に役立つようにするために、各グループとも学校や学年、部落の違うもの十五人八人で編成されたが、仲よく元気に講習を受けた。

二日間のプログラムは、第一日目が「子ども会活動を活発にするにはどうすればよいか」を話し合う部会、プールでの水泳指導、ゲーム、ソング、座談会それにキャンプファイヤー。第二日目がラジオ体操やソフトボール、ドッチボールを盛り込んだ朝の行事、教育長の「子ども会活動におけるリーダーの役割り」についての講話、二日間の受講生活の内容にして壁新聞をつくる創作活動などが組まれたが、どの受講生も熱心に講習を受けた。

また、二日目の午後は反省会が行なわれ、受講生ひとりひとりが感想をのべたが、キャンプファイヤーや創作活動についてのべたものが一番多く、中には「講習会で学んだことを生かして、子ども会の指導に当たってゆきたい」というものも多く、指導者を喜ばせた。

心配ごと相談室

毎週月曜日です

今月は2日、9日、16日、30日の四回開かれます。

悩みごと、心配ごとのある人は気軽に役場の町民室へおいでください。開設時間は、午前九時から午後三時までです。

将棋大会開く

第十七回天王町定期将棋大会は去る八月十四日、役場第三会議室において五十名の棋士が参加して行なわれた。

棋士たちもこの日を期して練習したあとがうかがわれ、妙手の続出で熱戦が繰りひろげられた。

成績は次のとおり

天王町

【A級の部】

優勝 児玉文信(天王)

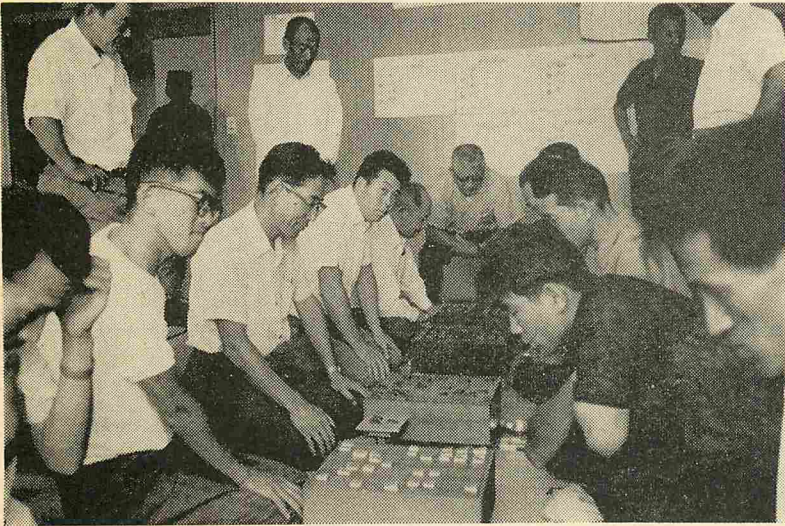
準優勝 桜庭敏朗(渋谷)

【B級の部】

優勝 木元隆雄(鶴沼台)

準優勝 鎌田鈴之助(追分)

▽熱戦をくりひろげる棋士達



国民健康保険のしおり

【保険給付】

◎病氣やけがをしたとき保険で診療を受けるときは、国民健康保険を取り扱う医療機関に保険証を提出してから診療をうけてください。

◎診療が終わったら一部負担金(自己負担)として費用額の三割を診療のたびごとに支払ってください。残りの七割は町で支払うこととなります。

◎診療、入院、薬剤、手術、処置など必要なことはなおるまでうけることができます。

◎病状が重態だったり、手術の後などで看護人が必要としたとき。(町に申請して認められた場合)

◎歩けない傷病者が入院、転地療養などする際乗物を必要とするとき。(町に申請して認められた場合)

◎柔道整復師の施術をうけたとき。

◎かかった費用を自分で全額支払ったとき。

◎旅行中や外出中の急病できん急やむを得ない場合で国保の取り扱いをうけないで診療をうけたときの医療費は全額自分が支払った後で町に請求することになります。

◎治療器具類(コルセット、マッサージ、はり、灸、医師が承認したとき)などの施術をうけたとき。

◎歯の治療をうけたとき。

◎子供が生れたとき。(助産費)

◎子供を育てるとき。(育児手当金)

◎被保険者が死亡したとき。(葬祭費)

保険給付の状況 (昭和42年度実績)

費用額	90,974,228円
保険者負担分	62,967,174円
一部負担金	27,011,127円
その他負担金の額	995,927円
その世帯用当り	49,069円
一費一人	10,542円

書面の縦覧を!

九月一日(当日は日曜日)ので今日(九月二日)までに登録の申し出をした者で、新しく選挙人名簿に登録すべき者や他市町村への転出等により抹消すべき者の住所及び氏名を記載した書面を次により皆さんに見ていただくことになっております。

期間 九月八日から九月十四日まで(土、日を含む)

時間 午前八時三十分から午後五時まで

場所 天王町役場(選管)

健康管理

食中毒に注意

九月は一年中で一番食中毒の多い季節です。暑さですっかり弱っている身体が回復しないまま農繁期にはいりますので、自然注意にもぶくぶくがちな

そこで、うっかり古くなった食品を食べようものなら、ひとたまりもありません。この時期こそ日頃台所をあらかじめお掃除してお母さんや、おばあさんは、細心の注意をはらって家族の健康をまもらなくてはなりません。

まず冷蔵庫を過信しないことです。食べものには、まめに火を通して細菌を繁殖させないこと。インスタント食品も有害色素により中毒をおこすので自然の色ものを選ぶこと。また、台所に集まるネズミやゴキブリは、サルモネラ菌をまきちらすので、追放し、調理用具の布巾、たわし、まな板、ざるなどは熱湯や日光消毒を十分に行なうように。

台所や冷蔵庫、食品戸棚のそうじもひんぱんに。料理の前には、手をよく洗い、とくに指先の切り傷には気をつけて、化膿した傷のブドウ球菌がストックした食品に付着すると大変です。火毒を発生すると大変です。火を入れても死なないからおそろしいのです。

田民手帳予約受付中

ただいま昭和四十四年用「秋田県民手帳」の予約募集をしています。

一冊百円で、予約された方には十月中旬ごろお届けします。ご希望の方は九月十五日まで役場企画室までお申し込みください。



綱引き
「ヨイショ、ヨイショ」の力強いかけ声。必死な顔と顔。太い綱も切れそうだ。(江川部落運動会で)



競争 食いパン
大きなパンをガツブリ包もうと、アゴがはずれんばかりに口をひらく。パンが揺れないで。手を使えないのがもどかしい(町民運動会で)

うどんがいの

花よめ花むこさがし
ガッチリと手をつないでゴールへ。はいませぬ。(町民運動会で)

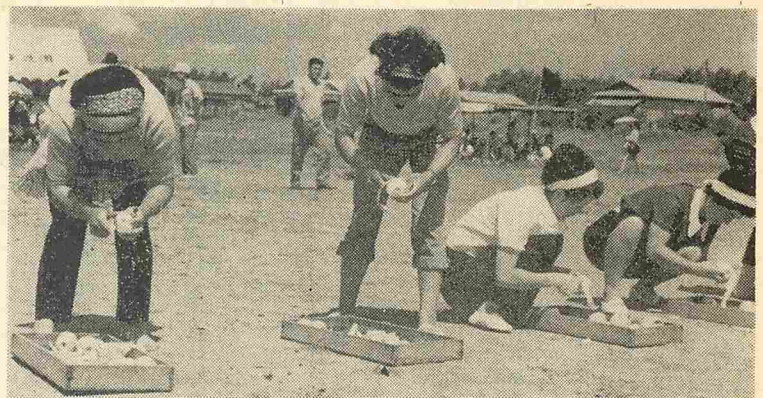


ことしの夏は運動会で始まり運動会で終わったといってもよい。町民運動会をはじめ各部落で部落運動会が行なわれ、親子一体となって競技を楽しんでいた。早い選手にも遅い選手にも同等に声援がおくられ、珍競技や迷選手に拍手がわく。いつの時代も変わりない楽しい一日である。

料理教室
みごとなナイフさばきに、りんごはたちまち皮を失なう。そんな厚く皮をむいたら、りんごがなくなるんじゃないかなんていわないで!(町民運動会で)



炊事も楽しいひととき。大自然のふとこで食べるご飯はまた格別である。(加茂青砂のワークキャンプで)



ワークキャンプに参加して
火は燃えていた
太陽も沈み、キャンプファイヤーを迎える加茂の大自然はピリピリとはりつめていた。月が木々の間から淡い光をなげかけるとき、たいまつが木立を縫いながら近づき、円陣を一周して火床の前で点火の合図を待つ。

町教委では、青少年団体のリーダーを対象に、八月二、三日の二日間、男鹿市加茂青砂海岸でワークキャンプを実施したが、町内の青少年三十名が参加。「楽しかった。有意義だった」と好評だった。

ワークキャンプ

「楽しかった」これがワークキャンプに参加してどうだったと聞かれた時に、最初に出たことばでした。楽しく歌い、話し合っこと、ほたるの光を歌いながらテントに戻ったこと、スイカを食べたこと、夜中に豪雨が降ったこと、フォードダンスをしたこと、泳いだことなどみんな楽しく思い出されます。それと同時に、団体生活を通して貴重な体験をしたことも、ことしの夏休みの大きな収穫であったと思います。二日間を楽しんで有意義に過ごせたのは、指導者のみなさんが衛生や栄養などにまで気をつかい、無理のない日程を組んでくださったからだとありがたく思っております。 児玉 佐藤光江子(高校生)

「パチ。パチ。パチ」キャンプファイヤーの夜は明日を担う青年の意気と情熱で赤々と燃え夜空を焦がした。まるで、火が友と私の心に生きているかのよう……。燃える炎と共に、歌声も高く低く夜空に吸いこまれていく快よさを感ずる。 私たちは互いの心に友情、信頼、協力の火を燃やしながら明日の活動に不屈の精神を養い新たに進む事をかみしめあった。 自然の神秘にふれながら一つを求め進む友と生活を共にし、語りあえたことに限りないよろこびを感じる。 若い集いは明日の生気に燃えていた。 羽立 山寺ウタ子(保母)

